

国から示される本県の臨床研修募集定員上限の算出について(2027(令和9)年度定員)

参考資料 2

- 臨床研修の必修化後、研修医の募集定員が研修希望者の1.3倍を超える規模まで拡大し、研修医が都市部に集中する傾向が続いた。
- このため、厚生労働省により、平成22年度研修から各都道府県の募集定員上限が設定され、研修医の偏在是正が図られている。

a マッチング参加者数は、以下(イからハ)の合計数値により見込む
 イ (医学部4年生の数※(文科省 学校基本調査より) - 自治医大学生数)
 ロ 前年の医師国家試験不合格者数
 ハ 国外の医学部卒業生、卒業予定者
 ※ 2024年度時点の医学部4年生の数から算出。(算出時統計データを有するため)

1 全国の募集定員上限

A 研修希望者数(推計)

$$10,376 \times 1.05 = 10,895$$

(対前年度 +88人)

1.05
倍率 (2025年までに1.05まで段階的に引き下げ)

- 研修希望者数の推計(a+b)
- a マッチング参加者数見込
- b 自治医大及び防衛医大の6年生(2026年度時点)人数

全国の募集定員上限

2 各都道府県の募集定員上限

B 人口分布

$$9,338 \times \frac{7,460}{123,802} = 563$$

C 医学部入学定員

$$9,338 \times \frac{446}{9,376} = 444$$

- 全国の研修医総数(推計)
- A(研修希望者数推計) × 0.90

0.90
研修希望者数に対する採用実績数の割合の過去3年間平均値

① 基本となる数=BとCのうち多い方を選択

B 人口分布

$$9,338 \times \frac{563}{10,035} = 524$$

② 地域枠加算

地域枠5年生数(2025年度時点)

$$35 \times 1.05 = 37$$

③ 地理的条件による加算

100kmあたり医師数(全国平均以下の場合に加算)

0

離島人口

1

医師少数区域の人口

0

①+②+③だが、全都道府県の合計値がAを上回る場合、超過分を各都道府県の①に応じて按分する形で調整

1.05
地域枠について乗じることとされている率

3 前々年度採用実績の保障

算出した募集定員(仮上限)と前々年度の採用実績を比較

① 募集定員(仮上限) ≥ 前々年度の採用実績の場合

⇒ 仮上限で決定

② 募集定員(仮上限) < 前々年度の採用実績の場合、下記を保障

⇒ 前々年度の採用人数と前年度の募集定員上限 × 0.99のうち、少ない方で決定。

算出した募集定員(仮上限) と 前々年度(2025年度)の採用実績 を比較

555 > 552

↓

仮上限(555名)が前々年度採用実績(552名)を上回るため、仮上限で確定。

愛知県の募集定員(仮上限) 555

愛知県の募集定員(確定値) 555